

ロタウイルスってなあに？

「ロタウイルス」は乳幼児に多く起こる感染性胃腸炎の原因となるウイルスのひとつです。ロタウイルスには多くの種類(型)があり、5歳頃までに少なくとも1回以上は感染するといわれています。中でも生後6カ月から2歳までの乳幼児は重症化しやすい傾向があります。

ロタウイルスの感染力は非常に強く、便には大量のウイルスが排出され、わずかなウイルスでも感染してしまいます。便の中に出てきたロタウイルスが手などを通じて口に入ることで感染することが多いのですが、接触や飛沫でも感染します。

流行は毎年冬から初春にかけて。感染すると2～4日の潜伏期間を経て発症します。嘔吐、水のような下痢を繰り返すのが特徴で、発熱の症状も多く見られます。

通常、これらの症状は1週間程度で治りますが、重症化すると、嘔吐と下痢により体の水分が失われ、脱水症状が続いたり、けいれんや脳症などの合併症が起こることがあります。

ロタウイルスはウイルスの排泄期間が長く、症状が良くなっても感染するため、十分な注意が必要です。

冬から春にかけて流行します。ご注意ください！



ロタウイルスの予防法は？

日常の予防としては、アルコール消毒は効きにくいので、流水下で、石けんで手洗いをしましょう。また任意接種のワクチンもあります。ロタウイルスには有効な治療薬がなく、対症療法(症状をやわらげる)しかありません。1回目の感染が重症化しやすいので、ワクチンで早めに予防しましょう。



感染拡大を防ぐためには？

ロタウイルスは、ウイルスに汚染された水や食べ物を口にしたり、おもちゃをしゃぶったりするだけでも感染します。感染の拡大を防ぐためにも、子どもと接触した時や、排便後または、おむつ交換後は必ず手洗いをしてください。

大人も注意したいノロウイルス

乳幼児だけでなく、学童や大人にも多く見られるのが「ノロウイルス」です。ノロウイルスの主な症状は嘔吐と下痢で、多くは1日から3日で治りますが、排泄期間は7日～3カ月程度といわれています。ロタウイルス同様に有効な治療薬がない上に、ウイルスの侵入や感染拡大を防ぐことは非常に困難です。ノロウイルスにはアルコール消毒が効かないため、石けんを使った手洗いをを行うこと、食品は充分に加熱することなどの対策が必要となります。

